

所管課		地域福祉部生活福祉課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第2章 共生共感都市			04 高齢者福祉			02 健やかで安心できる暮らしを支援する										
	事業：福祉施設管理運営事業													整理番号	0056		
目的	高齢者や障がい者等の福祉の増進を図る。																
目標	高齢者や障がい者等の活動の増進。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		97,989		コスト情報・評価	総コスト(千円)		104,194		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		91,727		内訳	事業費		97,989			効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		4,761			有効性		B			
		地方債		0			公債費		1,444		高齢者や障がい者等に各種相談や社会参加・生きがいの場を提供している。						
		その他特定財源		6,262			一人あたり(円)		923								
							世帯あたり(円)		2,210								
	貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	高齢者や障がい者等に各種相談や社会参加・生きがい活動の場を提供している。										
今後の方向性	利用者のニーズを把握し、利用者が利用しやすい施設運営に努める。																

事業優先順位		1	細事業：市立福祉センター管理運営事業					整理番号		01	
目的		高齢者や障がい者等の社会参加や生きがい活動の促進を図り、もって思いやりに満ちた住みよい地域社会を確立するため設置した市立福祉センターの管理運営業務を行う。									
目標		円滑な管理運営が行えるよう、指定管理者と連携を図る。また、福祉センターの維持・保全点検、修繕を行い、利用者が快適に過ごせるよう努める。									
事業実施主体		指定管理	事業開始年	昭和50年度	根拠法令	河内長野市福祉センター条例					
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）	財源内訳	平成24年度		比 較		コスト情報・従事職員数	平成24年度		比 較	
			67,719					70,750			
			64,132					67,719			
			0					1,587			
			0					1,444			
			3,548					627			
			39					1,500			
			0					0.20			
			0.00					0.00			
			今後の方向性		利用者ニーズを把握し、利用者が利用しやすい施設運営に努める。						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	利用対象者（高齢者39,848人・障がい者5,418人・母子1,052世帯 H24.3.31）						
	A	A	B								

事業：福祉施設管理運営事業

1. 概略

高齢者や障がい者等に関する各種の相談に応ずるとともに、社会参加や生きがい活動等の場を提供するために、福祉センター・地域福祉センター（2館）の管理・運営を行った。

細事業：市立福祉センター管理運営事業

1. 福祉センター「錦溪苑」

福祉センターの管理運営については、河内長野市社会福祉協議会を指定管理者として、多様な情報の提供を行うとともに利用者のニーズに応えながら、教養の向上など生きがいづくりの拠点として、また日々を楽しむ憩いの場となるように、下記の事業に取り組み、センター機能の充実に努めた。

管理運営委託料 59,835,284 円



(1) 利用者の状況

平成 24 年度における利用者の状況は下表のとおり。

開館日数（日）	男女別利用者数（人）			1 日平均利用者数（人）	浴場利用者数（人）
	男	女	計		
292	39,517	34,175	73,692	252	35,479

(2) 事業内容

① 生きがいづくりに関する事業

利用者の生涯教育、趣味を見出し自らの生きがいづくりを図ることを目的に、歴史講座をはじめ 5 つの講座を開催し、74 人の受講があった。

講座以外でロビーコンサートをはじめ 6 つの事業を開催し、639 人の参加があった。

センタークラブ（22 クラブ、会員数 342 人）がおおむね月 2 回の自主活動するなかで、活発に活動できる環境整備と指導・援助を行った。



② 医療・健康に関する事業

利用者の健康に対する不安を解消するため、医師による医療健康相談を月 1 回第 4 木曜日に実施し、27 人の相談を行った。また看護師による血圧測定を月 2 回第 2・4 金曜日に実施し、260 人の血圧測定を行った。

疾病・負傷により心身の機能低下を招いている利用者の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために、理学療法士及び看護師による訓練指導を毎週木曜日に実施し、407 人の訓練指導を行った。

③ 送迎バス運行事業

利用者の利便性を確保するため、市内巡回送迎（利用者数 2,717 人）・老人クラブ送迎（利用回数 54 回、利用者数 1,931 人）・市内主要ターミナル送迎（利用者数 2,474 人）で送迎バスの運行を実施した。

④ 福祉センターまつり開催事業

センタークラブや自主サークルの活動成果の発表の場を提供し、各種団体の協力のもとで、利用者の相互交流を深めるために、12 月 8 日に福祉センターまつりを開催し、約 500 人の参加があった。

⑤ 広報活動事業

毎月 1 回ホームページを更新し、また 2 ヶ月に 1 回広報紙「錦溪苑だより」を発行し、情報提供を行った。

⑥ 入浴施設の衛生管理の徹底

保健衛生管理・安全対策として、より一層の水質維持・管理を図るため、入浴施設関連機械設備及び貯湯槽の清掃・洗浄及び塩素消毒の徹底により、レジオネラ菌をはじめ他の病原性細菌の発生を防止し、利用者の安全を図った。